

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成 21 年 1 月 22 日 (2009.1.22)

【公開番号】特開 2007-190794 (P2007-190794A)

【公開日】平成 19 年 8 月 2 日 (2007.8.2)

【年通号数】公開・登録公報 2007-029

【出願番号】特願 2006-10829 (P2006-10829)

【国際特許分類】

B 3 2 B 27/30 (2006.01)

B 0 5 D 7/04 (2006.01)

G 0 2 B 1/10 (2006.01)

B 0 5 D 7/24 (2006.01)

H 0 5 F 1/02 (2006.01)

C 0 9 D 4/02 (2006.01)

C 0 9 D 7/12 (2006.01)

【 F I 】

B 3 2 B 27/30 A

B 0 5 D 7/04

G 0 2 B 1/10 Z

B 0 5 D 7/24 3 0 3 Z

H 0 5 F 1/02 K

C 0 9 D 4/02

C 0 9 D 7/12

【手続補正書】

【提出日】平成 20 年 12 月 2 日 (2008.12.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 5 0 】

実施例 3 / 比較例 2

分子中に 15 個のアクロイルオキシ基を有する多官能ウレタンアクリレート化合物〔新中村化学工業（株）の N K オリゴ U - 1 5 H A 〕 2 0 部、光重合開始剤〔チバスペシャルティーケミカルズ（株）の I R G A C U R E 1 8 4 〕 1 部、及び 2 - エトキシエタノール 7 9 部を混合し、硬化性塗料を調製した。この塗料を用いて、実施例 1 と同様にメタクリル樹脂板の表面に硬化被膜を形成した。この硬化被膜の厚さは 4 ~ 8 μ m の範囲を有していた。この硬化被膜付き樹脂板について、実施例 1 と同様の評価を行い、結果を表 1 に示した。